公述人2

意見の概要

霞ケ浦で清掃活動を始めて21年が経過しました。それまでは築堤の周辺のゴミ拾いは行われていましたが、湖中や川中に立ちこんでまでゴミ拾いをするものはいませんでした。我々の清掃活動ではいろいろなゴミが拾えます。それは時代によって変化しています。リサイクル家電法のときはリサイクルに料金がかかる家電製品が多く捨てられ、テレビの地デジ化のときはブラウン管テレビが多くありました。また、東日本大震災の後には家の瓦礫なども捨てられました。このように霞ケ浦の湖中はゴミだらけです。必然的に水も化学物質で汚染されて行きます。この汚濁した水を少しでも良くしようと思ったら、水の入れ替えが必要です。そのためにも霞ケ浦導水事業の早期完成を望みます。